普及現地情報

発信年月日：平成 30 年（2018 年）11 月 14 日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A18011
部門分類：160（果樹）
発信者名：長田、村井、増田

さづかわ果樹生産組合の再編に向けて

農事組合法人 さづかわ果樹生産組合（平成４年 設立）は、主にナシの栽培を行い、「もりやま梨」として評価を得てきました。

栽培開始から 27 年が経過し、樹が老木化しつつある中、９月４日に本県に接近した台風 21 号の影響により、これまで園地を守ってきた防風・防虫ネットが大きく破損するとともに、中生～晩生品種の大部分が落果する大きな被害を受けました。

生産者の高齢化が進み、このままでは産地の維持が困難になると想定されたことから、当課と守山市は、今後の産地の方向性について協議を行うワーキングチームを立ち上げ、検討を開始しました。当チームでは、市と県が役割分担し、産地維持に向けた課題解決の手法を産地に提案することとしています。

当課では、まず産地の実状を把握するため、①樹の状況（枯死樹、衰弱樹などの樹数調査）、②樹冠占有面積率、③樹勢、④花芽着生状況 を調査し各園地の生産性を把握しました。その結果、現在栽培されているナシ園地 6.8ha のうちの６割以上が、県平均並みの収穫量を確保できる能力があると判断できました。このことは生産者からの聞き取りによっても裏づけされました。

今後は、守山市と連携して、産地の維持に向けた組織の支援と技術指導に取り組む予定です。

生産者への聞き取り

県平均並の収量が見込めるほ場